

白内障は老化によって発症するもので、早い方だと 40 歳前後で発症し、60 歳を過ぎると 80%以上の方が、80 歳を過ぎると 100%の方に白内障の症状が認められます。つまり、白内障は「老化現象」のひとつであり、誰でも発症する可能性のある身近な疾患なのです。

●白内障とは？

白内障とは様々な原因で水晶体という眼のレンズが濁った状態です。眼は、よくカメラにたとえられますが、レンズが曇ってはいはきれいな写真が撮れないのと同じように、見え方が悪くなります。残念ながら、濁った水晶体を透明にするのは現時点では難しく、生活に支障が出るほど濁ってしまっただけからは、手術以外の治療法はありません。



●白内障の原因と種類

先天性	生まれながらにして水晶体が濁っている白内障です。原因として遺伝的な問題や、母親が妊娠中に風疹になってしまった場合に多いようです。
後天性	老人性 年齢を重ねると共に起こる白内障で、最も多い原因です。年を取るにつれて目の代謝が鈍くなったり、水晶体のたんぱく質が酸化することで起こります。
	外傷性 外部からの衝撃などにより目に傷がつき、そこから白内障になることを言います。自覚症状が無いことも多く、後に視力が下がるなどで気がつく人が多いようです。
	併発性 他の目の病気に伴って発生する白内障です。ブドウ膜炎、網膜色素変性症、緑内障、網膜剥離などを生じた場合に白内障になりやすいといわれています。
	アトピー性 アトピー性皮膚炎に合併して起こる白内障です。原因として、顔や頬の痒みから顔を掻き、目に傷がついてしまうためと考えられています。
	糖尿病性 糖尿病の合併症として起こる白内障です。発症すると進行が非常に早いとされています。
	薬剤性 他の病気の治療で用いた薬剤が原因となって引き起こされる白内障です。最も多いの原因がステロイド剤です。

●濁り方による分類

皮質白内障	水晶体の端の方から濁ってくる状態をさします。老人性白内障に多いタイプです。
核白内障	水晶体の中央部分から濁ってくる状態をさします。
前囊下白内障	水晶体の前の部分の中央が強く濁る状態をさします。30 代後半から 40 代にかけての若年性白内障によくみられます。
後囊下白内障	水晶体の後ろ側から濁ってくる状態をさします。老人性白内障のほか、併発白内障に多くみられます。他のタイプに比べて、進行が早いのが特徴です。

●白内障の治療について

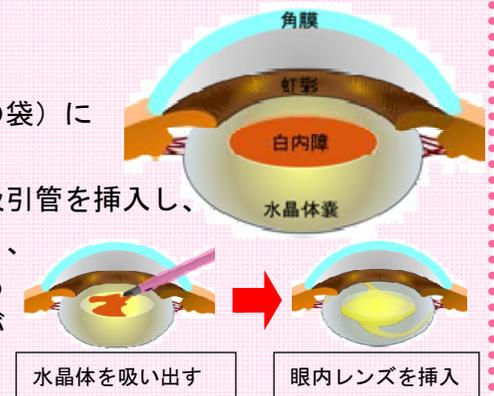
薬物療法

一度濁ったレンズ（白内障になった水晶体）を透明に戻す薬はありません。濁りの進行を遅らせるための目薬としてピレノキシリン（薬品名：カタリン、カリーユニなど）、グルタチオン（薬品名：タチオン）があります。

手術

濁った水晶体を取り除き、透明な水晶体嚢（水晶体の袋）に眼内レンズを埋め込みます。

最近では約 3mm の創（きず）から超音波で振動する吸引管を挿入し、灌流しながら水晶体を吸い出し（超音波水晶体摘出術）、残した薄い膜（水晶体嚢）の中に眼内レンズを挿入する方法が主に行われていますが、進行した白内障は手術が難しく、他の手術方法が選択される場合もあります。



●手術後の注意点

術後しばらくは目に触ったり、こすったりしないように気をつけてください。

一般的に、手術の傷が落ち着くまで 1 週間程度はかかります。

術後に処方される点眼薬として、炎症を抑えるステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、感染を予防する抗菌薬があります。

術後 1 ヶ月ほど経過すると、少しずつ普通の生活ができるようになります。しかし、目の機能の回復には時間がかかります。完全に回復するまで、医師の指示に従って点眼薬を使ってください。

術後の合併症としては、術後早期では、角膜浮腫、虹彩炎、眼圧上昇などがあり、軽微なものであれば 1 週間程度で改善します。また、細菌感染による眼内炎が起こることもあります。嚢胞様黄斑浮腫は視力に大事な黄斑に一時的に浮腫が生じるもので、2 週間から 1 か月、それ以降に発症することもあります。

最も多いのは、眼内レンズを挿入した水晶体嚢の後ろが手術後 1~2 年で濁ってくる後発白内障といわれるものです。そのほかに網膜剥離、硝子体出血、眼内レンズ脱臼など、視力障害を生じる合併症が起こることもあります。強い痛みや目の充血、視力の低下、見え方がおかしいと感じたら、直ちに受診してください。

✓白内障セルフチェック！

- 目が見にくく、不自由を感じる。
- 左右の目の見え方の差が大きい。
- 明るい場所や日差しの強い場所にいると、異常にまぶしく感じる。
- 目がかすんで見えにくい（霧がかかったように見える）。
- 片目で見るときに、物がダブって見える（二重、三重に見える）。
- 近くのモノが見えやすくなった（老眼鏡が不要になった）。
- 眼鏡を替えても見にくい（眼鏡を作ることができなかった）。
- 自動車の免許更新が行えなかった。
- 見え方に異常はあるが、目の痛みや充血はない。
- 年齢が 50 歳以上である。

2~3 つ以上当てはまる場合は、白内障の可能性がります。眼科受診することをお勧めします。